

ダヴィデはサウロ王の陣営で休んでいる彼の寢床に於いてある、水差しと槍を盗んでから、丘の上から大声で叫びました。もし、私が本気になるなら、サウロ王を暗殺できたが、国と王を尊敬していたので王のベッドの側にある水差しと槍を証拠に盗んだ。そして、護衛のヨアブ將軍の職務怠慢を責めました(旧約聖書サムエル第一 26 章)。防衛大臣が毎日、朝日新聞に架空の名前でワクチン予約をしたのを訴えました。自己の職務怠慢を反省しないで、国家を愛している新聞社を悪者扱いしています。これは国民を愛さない権力シンドロームの現れです。

5月17日(月)ワクチン接種を受けました。次回は6月10日(木)をその場で予約できました。国は1日100万回をすと言っています。東大の経済部の教授が1日50万回になると東京オリンピックの7月に再び感染のピークが訪れるシュミレーションを公開しました。

1日100万回というのはどのような頻度か想像できませんが、私が接種した日は梅雨入りの朝から大雨でした。行けなかった高齢者がおられたかもしれません。

高齢者は頻尿の方が多し、すぐに忘れるし、躓くし、滑るし危険極まりありません。私の場合は小児科で接種しましたが、初めての場所なので、ワクチンとは関係のない問診表を書き、診察券も作成してくれました。10時の予約で接種が終わったのが11時でした。一人1時間かかりました。

すなわち高齢者3千万人に3千万時間かかるのです。3425年です。2回接種となると2倍になります。